

政策体系	基本目標名	02	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	施策主管課長	文化推進課
	政策名	03	歴史・文化を守り育てるまちづくり		林田 治美
	施策名	01	文化芸術活動の推進		
施策関係課	文化財課				

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				R4	R5	R6	R7	成果指標設定の考え方
	①市民 ②文化資源 ③文化芸術施設	① 市の人口 ② 指定文化財、登録文化財件数 ③ 市内の文化芸術施設数(市立) ④	単位	人	件					
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)		区分	単位	R4	R5	R6	R7	
	①市民の文化芸術活動が活発に行われている状態 ②文化資源が関心を持たれる状態 ③施設を利用した時の満足度が高い状態	① 文化活動を行うか、美術館や展示会、講演会などに参加・鑑賞している割合 ② 市内の文化財、郷土芸能を知っている割合(天明鑄物) ③ 施設利用者の満足度が高い割合 ④	目標 実績	%	%	53.5 43.1	55 -	56.5 -	58 -	
	① 文化活動を行うか、美術館や展示会、講演会などに参加・鑑賞している割合 ② 市内の文化財、郷土芸能を知っている割合(天明鑄物) ③ 施設利用者の満足度が高い割合 ④	目標 実績	%	%	75.5 72.5	76 -	76.5 -	77 -		
	① 文化活動を行うか、美術館や展示会、講演会などに参加・鑑賞している割合 ② 市内の文化財、郷土芸能を知っている割合(天明鑄物) ③ 施設利用者の満足度が高い割合 ④	目標 実績	%	%	86 83.3	86.5 -	87 -	87.5 -		

①文化芸術施設の利用者が多いほど文化活動が活発に行われていると考えられるため、また何らかの文化活動を行うか、講演会や展示会等に参加・活動している割合を増やすことが、活発な状態につながると考えられるため、設定した。  
②文化財や郷土芸能を知っている割合が高いほど、文化資源に関心を持っていると考え設定した。  
③施設利用者の満足度が高いほど、施設の充実が図られていると考え設定した。

- ① 市政に関するアンケート  
② 市政に関するアンケート  
③ 施設利用者からのアンケート  
④

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7
文化芸術に触れる機会の充実	①市民 ②児童・生徒 ③文化団体	①、②文化芸術に触れ、体験する機会を拡充する。 ③市民文化の核となる文化協会や(公財)事業団との連携を図る。	① 美術館、陶芸館入館者数 ② 学校訪問事業等実施数 ③ イベント実施団体数 ④	目標 実績	人 校 団体	16,000 6,285	17,000 -	18,000 -	19,000 21	文化資源の有効活用	①天明鑄物 ②郷土芸能 ③吉澤記念美術館収蔵品	①、②、③特色ある地域資源の有効活用を図り、地域の活性化につなげる。	① 天明鑄物を知っている割合 ② 伝統芸能事業への参加団体数 ③ 吉澤記念美術館入館者数 ④	目標 実績 団体 人	%	75.5 72.5	76 -	76.5 -	77 -
文化芸術施設の基盤強化	①施設利用者	①施設利用者の満足度を高めるとともに、利用者の増加を図る。	① 施設利用者の満足度が高い割合 ② 施設利用者数(5館) ③ ④	目標 実績	% 人	86 83.3	86.5 -	87 -	87.5 -				① ② ③ ④	目標 実績 目標 実績 目標 実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和4年度施策の取組方針	取組方針	成果指標	施策の取組方針・成果指標達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や指定管理者と連携し、市民へ文化芸術に触れる機会を提供するとともに、特に次代を担う子どもたちへ、身近な伝統文化や地域の芸術家との関わりを持つ機会の充実に努める。</li> <li>市民の文化活動や各種団体を統括する組織である文化協会と連携し、佐野ケーブルテレビを活用した文化祭の開催等、活動を支援する。また、公益財団法人佐野市民文化振興事業団との共催等、官民連携事業を実施する。</li> <li>特色ある地域資源である「天明鑄物」に関する事業を継続して実施し、鑄物のまちづくりを進める。また、地域の伝統芸能について、世代間での交流活動を推進することで、後継者の育成につなげる。</li> <li>文化会館のリニューアルについて、実施方針を確定する。また、吉澤記念美術館は開館20年となるため、記念の展示会を開催する。</li> </ul>			<p>【取組方針の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民、特に子どもたちを対象に、音楽、演劇等本物の文化芸術に触れる機会を設けた。</li> <li>コロナ禍の中で、各団体が工夫して、茶会や音楽会等を対面で実施し始めたほか、佐野市民文化振興事業団の公益財団法人10周年を記念した事業を共催した。</li> <li>1月に、天明鑄物が地域団体商標として登録が実現した。また、2月には、「天明鑄物発見！体験！フェア」を開催し、作品や生産用具の展示、鑄物の制作体験や鑄物作品を活用した各種ワークショップ等を行った。</li> <li>災害やコロナ禍以来、約4年ぶりの牧歌舞伎地元公演及び郷土芸能フェスティバルを開催できた。</li> <li>吉澤記念美術館の開館20周年として、菜蟲譜や天明鑄物由来の作品等を展示した。</li> <li>文化会館リニューアル事業について、6月に実施方針を公表した。</li> </ul> <p>【成果指標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校訪問事業や文化団体の各種事業の回数が増え、コロナ禍以降の活動が活発化している様子が見られるが、美術館等の入館者数はコロナ禍前の状況には至っていない。</li> </ul>	

基本事業	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況
	文化芸術に触れる機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの文化芸術に触れる機会を充実させるため、学校との連携により地元芸術家によるワークショップ等を実施する。</li> <li>文化協会、文化振興事業団、指定管理者等の事業との共催・支援を図り、市民が身近に文化芸術に親しむ機会を提供する。</li> <li>吉澤記念美術館の開館20年を記念し、国の重要文化財「菜蟲譜」を展示し、市民が美術に関心を持つような魅力を感じる企画展を開催する。</li> </ul>	<p>【取組方針の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちへの文化芸術活動のアプローチとして、プロによる音楽や演劇鑑賞等を実施した。</li> <li>ウィズコロナを反映した安全安心な市民文化祭の運営支援、文化振興事業団記念事業の共催等を実施した。</li> <li>吉澤記念美術館20周年記念事業として、「菜蟲譜」を目玉とする所蔵企画展を開催した。</li> </ul> <p>【成果指標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校訪問事業や文化団体による事業は、目標を達成しており、コロナ禍から文化活動が活発になりつつあるが、美術館、陶芸館の入館者数は目標を下回った。</li> </ul>	文化資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>天明鑄物のまちづくりを推進し、ブランド力を高めるため、「商標登録」の手続きを継続して進めていく。</li> <li>栃木県無形民俗文化財「牧歌舞伎」の地元開催を通して、次世代を担う子どもたちの参画、世代間交流を促し、後継者の育成を図る。</li> <li>「漆喰」を利用したフレスコ画制作等、特色ある地域資源を活用し、地域の歴史・文化の再認識を図る。</li> </ul>
文化芸術施設の基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化会館では、リニューアル(設備の大規模更新)のための実施方針を決定する。また、民間事業者を公募する募集要項の作成についても準備を進める。</li> <li>吉澤記念美術館では、入館者が安全で快適に鑑賞できるよう、施設の適切な維持管理に努める。</li> </ul>	<p>【取組方針の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化会館リニューアル事業は、6月に実施方針を公表、R5.3月に事業参加の募集要項を事業評価委員会に諮り、R5.4月に公表した。</li> <li>美術館の維持管理においては、空調設備の修繕等を行い快適な環境維持に努めた。</li> </ul> <p>【成果指標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の外出自粛による利用者減の状況から脱しきれず、目標を大きく下回った。</li> </ul>			<p>【取組方針の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化会館リニューアル及びあくとプラザや美術館等の適切な維持管理による快適な環境整備と併せ、魅力ある事業を企画することで、市民に親しまれる施設を目指す。</li> <li>R6年度に、佐野市民文化協会が設立20周年を迎えることから、協会と連携して、文化芸術活動を積極的にPRし、市民の文化芸術活動に対する関心を高め、活動や鑑賞をとおして文化芸術に親しむ市民(特に若者)の増加につなげる。</li> <li>R6年度は設計の段階となる文化会館リニューアル事業について、技術センターと連携して、進捗管理を行う。</li> </ul>

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の状況が著しく変化の中で、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等の関連分野との連携を視野に入れた、総合的な文化芸術政策の展開が求められ、特に、文化を起点とした観光と経済の振興に対する期待が高まっている。また、各地方公共団体において、その地域の特性に応じた文化芸術に関する施策を積極的に推進すること、を推進している。(国)</li> <li>心豊かな県民生活と地域社会の実現に向け「みんなで育み、誇るとちぎの文化」を基本目標とし、文化振興施策の取組を展開する。(県)</li> <li>鑄物展示施設の設置等、天明鑄物を活用したまちづくりの要望(市民、市議会)</li> <li>伊藤若冲の「菜蟲譜」の定期的な公開、自己保有している美術品の寄贈の要望(市民)</li> </ul>	市民	事業所	行政
		<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術に関わる展示会や体験教室等に積極的に参加することが求められる。</li> <li>市民文化の主体は市民自身であり、自身の活動や団体の活動の情報を積極的に発信するよう努める。</li> <li>様々な伝統芸能を次世代へ継承するように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業には、文化芸術活動への協力や支援が求められ、地域社会を構成する一員として、地域の活性化に貢献していくことが期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に文化芸術情報を収集し、広く市民に提供できるよう努める。</li> <li>現代的なものから伝統的なものまで、様々な分野の文化芸術に触れる機会の提供や活動の支援に努める。</li> <li>文化芸術活動の拠点となる施設について、安全安心に利用できるよう環境整備に努める。</li> </ul>

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により、芸術文化の発表や鑑賞の場が極めて限定されていたが、制限が徐々に緩和されるとともに、運営方法を工夫し、「ウィズコロナ」の活動が定着し、文化芸術活動が再開されつつある。</li> <li>郷土芸能についても、再開の動きが出ているが、コロナ禍の間に、構成メンバーの高齢化で活動できなくなった団体も出ており、団体の存続、技能の継承が課題となる。</li> <li>文化芸術発表の場や学校訪問事業が増える一方で、美術館や陶芸館の入館者数が伸び悩んでいる。コロナ前の入館者の年齢層が比較的高めであったことが一因とも考えられるので、若年層を中心に幅広い年齢層に向けた企画やPR方法を検討する必要がある。</li> <li>天明鑄物は、地域団体商標に登録され、人々の関心が高まりつつある。これを強みとした新たな展開が期待されている。</li> <li>文化会館リニューアル事業について、リニューアル内容や事業の進め方等に関心が寄せられている。また、R6年度から3年間休館になることにより、従来の定期的な利用者から代替施設を心配する声もある。</li> <li>施策コストについては、施策のR4年度決算総額164,915千円。前年度決算総額164,149千円。文化会館リニューアル事業が加わり、文化会館費の決算額が増となったが、文化振興費において、佐野ルネッサンス鑄金展開催事業の終了等の事業の見直しを行い、前年比766千円の増程度に抑えることができた。</li> </ul>	<p>【令和5年度で解決する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化会館リニューアルの事業者を決定し契約を締結するとともに、市民に長期休館を周知する。</li> </ul> <p>【令和6年度以降にも引き継がれる課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動に触れる機会の充実</li> <li>伝統的な文化資源の活用と継承のための支援</li> <li>文化芸術施設のハード、ソフト両面からの基盤強化</li> </ol> <p>【令和6年度の重点課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>特に若年層の市民が文化芸術活動に関心を持ち、何らかの形で参加する機会の充実</li> <li>文化会館リニューアル事業の進捗管理</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>佐野市民文化協会や(公財)佐野市民文化振興事業団等の各種団体や、本市ゆかりのプロの芸術家と連携し、市民が文化芸術に親しむ機会を充実させる。</li> <li>「天明鑄物」や「牧歌舞伎」等の文化資源を継承するために、PRの機会を充実させる。特に、注目される天明鑄物については、田村耕一作品をはじめとする他の文化資源とのコラボや観光・スポーツ事業等とも連携し、文化資源としての磨き上げを進める。</li> <li>文化会館のリニューアル及びあくとプラザや美術館等の適切な維持管理による快適な環境整備と併せ、魅力ある事業を企画することで、市民に親しまれる施設を目指す。</li> <li>R6年度に、佐野市民文化協会が設立20周年を迎えることから、協会と連携して、文化芸術活動を積極的にPRし、市民の文化芸術活動に対する関心を高め、活動や鑑賞をとおして文化芸術に親しむ市民(特に若者)の増加につなげる。</li> <li>R6年度は設計の段階となる文化会館リニューアル事業について、技術センターと連携して、進捗管理を行う。</li> </ol>